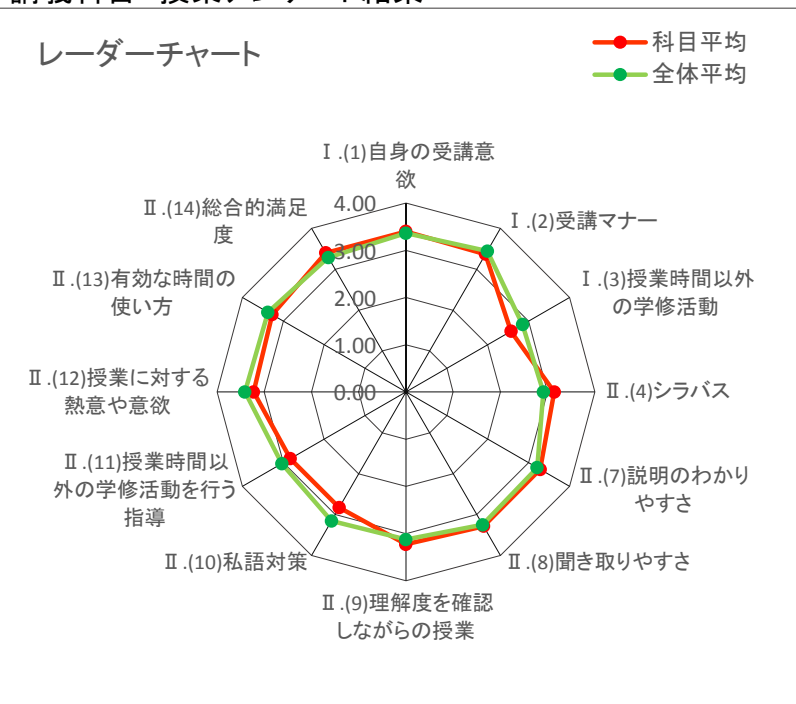
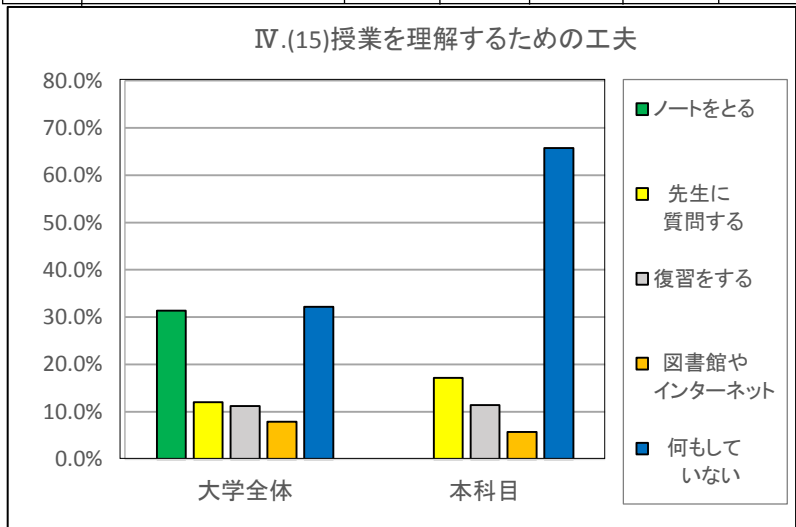


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2、(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	0.0%	17.1%	11.4%	5.7%	65.7%



アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2015年度 前期
時間割番号	52102
科目名	情報機器の操作
教員名	

①授業計画の達成度について

授業の目的の認識については、初回の授業においてシラバス(訂正版)をプリントにて配布して目的を説明し、さらに毎回の授業では授業計画に沿って進めるように心掛けました。到達目標や難易度については、高校までに受けて来た情報教育の差が非常に大きいため設定が大変困難でしたが、学生の反応を見ながらやや難しいと感じる程度に調整をしてきました。また、簡単な課題から応用的な課題を出すことによって学生個々の個人差を埋めるようにしました。これらについては設問5や6の評価からほぼ適切であったと考えられます。

②授業の進め方について

普段から熱心に授業に取り組んでいる学生が多いと感じていましたとおり、説明の分かりやすさや聞き取りやすさ、理解度確認という点で学生も評価してくれていたことが、設問7、8、9の結果から分かりました。熱心に取り組んでいることから安心して、演習問題をしている時間についての私語対策が十分ではなかったようです(設問10の結果)。授業時間外の学修活動が必要であることを説明し、少し多く演習問題を出すことで習慣づけるように試みましたが、課題をやって毎回提出する学生と、ほとんど提出できていない学生とに分かれてしまい、結果としてその指導が十分ではなく(設問11の結果)、授業を理解するための工夫を何もしていない学生が2/3近くいることになっているようです。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

本授業では、高校までに受けてきた情報教育の差が大きいことが大きな問題となっています。特にタイピングの基本ができずに課題をするのに時間がかかり途中であきらめるという学生が意外にも多いことから、前期の中盤より、10分程度のタイピング練習時間を設けました。また、その間机間巡視をして個々の学生と話す時間を増やすことによって個別の指導がしやすくなりました。今後の授業改善においては、できるだけポイントをまとめた板書や資料などにより視覚に訴えるよう工夫をするとともに、演習問題をする時間を十分にとって個別の質問やつまずきに対応できるようにして学生が満足できる授業にしたいと考えています。

	設問No	科目平均	全体平均
受講姿勢	I.(1)	3.40	3.36
	I.(2)	3.37	3.45
	I.(3)	2.57	2.86
受講内容・方法	II.(4)	3.14	2.91
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.29	3.21
	II.(8)	3.29	3.25
	II.(9)	3.23	3.13
	II.(10)	2.83	3.16
	II.(11)	2.83	3.04
	II.(12)	3.23	3.41
	II.(13)	3.27	3.37
満足度	II.(14)	3.40	3.29

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	3.11	3.22
I.(1)~(3)		
講義内容・方法	3.14	3.18
II.(4)~(13)		
総合的満足度	3.40	3.29
III.(14)		